

12/8  
(日)

老朽原発うごかすな

原発やめて  
自然エネルギーへ

# とめよう！ 原発依存社会への暴走 関電包囲大集会

使用済み核燃料ふやすな

2024年12月8日(日) 13:00~

関西電力本店前

(地下鉄肥後橋駅/京阪中之島線渡辺橋駅)

\*\*\*\*\* 概要 \*\*\*\*\*

13:00 集会開始 集会後、大阪駅前までデモ

16:00すぎ 解散



原発の風下・  
米原市の  
平尾道雄市長が  
アピール



・大阪駅から徒歩15分  
・地下鉄四ツ橋線「肥後橋駅」下車  
徒歩8分  
・京阪中之島線「渡辺橋駅」下車徒歩8分

主催:老朽原発うごかすな! 実行委員会

連絡先:090-1965-7102 ※ブログ検索は「老朽原発うごかすな! 実行委員会」



# 「原発依存社会」に向かって暴走する政府と電力会社に「NO」を！ 自然エネルギーへの完全転換を求めよう！

●東電福島第一原発事故、能登半島地震の悲惨を経験しても原発依存を止めない政府  
東電福島第一原発事故の現地は、未だに「原子力緊急事態宣言」下にあり、復旧とは程遠い状況にあります。また、本年元日の能登半島地震は、原発は地震に脆く、地震に伴って過酷事故が起これば、避難も屋内退避も困難を極めることを再認識させました。

それでも、「原発依存社会」へ暴走する岸田政権は、昨年5月末に成立させた原発推進法（「GX束ね法」）の実体化のために、「脱炭素・AI時代に対応するために、原発・再エネの最大限活用」を進めるとする第7次エネルギー基本計画の策定に着手しました。既存原発の再稼働、40年超え運転をさらに進め、60年超え運転も拡大し、原発リプレース、新設も俎上に上らせようとしています。原発を「ベースロード電源」と定め、石炭火力まで維持しようとする、脱原発に向かう世界の流れへの逆行です。

## ●老朽原発依存経営の泥沼にのめりこむ関西電力（関電）

関電は、原子力規制委員会から高浜3、4号機の20年間運転延長の認可を得ました（本年5月）。MOX燃料（ウラン・プルトニウム混合酸化物燃料）を使用する原発の40年超え運転は初めてです。これで、来年には、関電の稼働可能な原発7基の中の5基が40年超え運転となります。高浜1、2号機、美浜3号機は、もうすぐ50年超えの超老朽原発です。老朽原発では、交換不可能な圧力容器の脆化が進み、点検や交換が難しい配管、送電ケーブルの損傷も進んでいます。

老朽原発運転の暴挙を許してはなりません。

## ●使用済み核燃料の行き場はありません

新しい使用済み核燃料を保管するプールが倒壊すれば大惨事に至ります

発生直後の使用済み核燃料は、膨大な放射線と熱を発生しますから、燃料プールで水冷保管しなければなりません。そのプールが満杯になれば原発を運転できなくなるため、電力会社や政府は、放射線量と発熱量が減少した使用済み核燃料を乾式貯蔵に移して、プールに空きを作ることに躍起です。できた空間に新しい使用済み核燃料を入れた燃料プールが崩壊すれば大惨事に至ります。乾式貯蔵に移しても、使用済み核燃料の行き場はありません。

使用済み核燃料の発生源・原発を全廃しましょう！

## ●核エネルギー、化石燃料エネルギーと決別し、自然エネルギーへ

今、世界は原発縮小、自然エネルギーへ向かっています。自然エネルギーのみを利用すれば、①燃料費はほぼゼロですから、コストは原発に比較して圧倒的に安いのは当然で、②地球環境の保全にも有効です。③自然エネルギーは、供給が国際情勢の影響を受け難い自前のエネルギーです。④大地震が発生しても過酷事故に至ることはありません。このような視点からも、原発依存の理不尽は明らかです。

目に見え、耳に聞こえる行動の高揚によって、原発全廃を実現しましょう！



使用済み燃料プール

使用済み核燃料を増やすな！

### カンパのお願い

「12・8集会」へのご支援をお願いいたします。

（郵便振替）

口座記号・番号

00990-4-334563

加入者名

老朽原発うごかすな！実行委員会